






教育委員会 成果報告

教育長 吉川 雄二
教育部長 林 俊宏

部局達成度

				
1	15	1	1	10

総括

より充実した教育活動を推進するため、専門的な知識や技術をもつゲストティーチャーや授業ボランティアが子どもたちと一緒に授業を行うことで、子どもたちの学びは充実したものになりました。運用が始まったGIGAスクール構想によるタブレット端末を学校教育活動に活用できるよう、周辺環境の整備を行い、GIGAスクールサポーターを配置して、サポート体制の充実を図りました。

各学校の危機管理マニュアルは、洪水ハザードマップの浸水想定に合わせ、学校における避難場所の変更や、防災体制の見直しを行いました。

新しい学校給食センターの整備では、PFI事業者の募集や入札提案書類の受付、PFI選定委員会による事業者選定、事業契約の締結を着実に進めました。

ネットパトロールを実施し、会員制交流サイト(SNS)上の不適切な投稿を複数検知し、当該生徒が在籍する学校へ情報提供しました。

福井市北部地域学校規模適正化基本計画策定は、新中学校の整備方針や整備スケジュール、施設規模等の具体的な整備計画案を定めた基本計画を策定しました。

公民館の教育事業は、時間や人数の調整を行い事業内容や開催方法を工夫したことで全館で実施できました。市民憲章運動の実践目標は、市民へのより一層の浸透を図るため期間を令和6年3月まで延長し、小中学生には啓発グッズを配布しました。

図書館利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が伸びませんでした。市民1人当たりの貸出冊数は各種取組を実施したことで、目標を達成しました。市立図書館リニューアル事業では、パブリック・コメントを実施し、市民の意見やニーズ等を把握したうえで、設計業務を完了しました。

フルマラソンは、大会名称やロゴマークを決定したほか、大会運営や地域の盛り上げ計画等を記した実施計画書の策定、2年前イベントを実施しました。

文化財保護センター及びおさごえ民家園は、HPやSNSを通じた情報発信や楽しんでいただけるよう工夫したことで、利用者や体験学習会参加者数は目標を達成しました。また、「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」では、越前町や南越前町と連携して、ガイドマップを作成するとともに、ローカルフォトスクールを開催し、水仙畑の情報発信の担い手育成を行いました。

これからも全国トップクラスの教育環境の更なる充実と福井の歴史、伝統、文化の磨き上げを目指し、目標達成のための取組を着実に進めていきます。

組織目標ごとの達成状況

I. 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います

より充実した教育活動を推進するため、専門的な知識や技術をもつゲストティーチャーや授業ボランティアが子どもたちと一緒に授業を行うことで、子どもたちの学びは充実したものになりました。多くの小中学校では特色ある教育活動が保護者や地域の方々に公開されました。

各学校での授業や指導の改善に役立てるため、全国学力・学習状況調査結果を分析して、成果と課題に基づいた授業や指導の改善点をリーフレットにまとめました。

小学校入学への安心や期待をもてるための「わくわく交流デー」は、新型コロナウイルス感染症対策として、直接交流に代えて、小学校から園へ小学校生活を伝える動画や掲示物などを提供し、子どもたちが意欲をもって就学できるように支援しました。

特別支援教育の推進に向け、特別支援教育コーディネーターの参加する市全域協議会を開催するとともに、外部機関との連携や校内支援体制についての研修及び協議を行いました。就学相談会及び既就学児童生徒相談会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個別対応に変更し、全ての相談において対応しました。また、いきいきサポーターを配置し、通常学級で特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実を図りました。

スクールカウンセラーは、県の事業と連携して全小中学校への配置を行いました。「チャレンジ教室」の保護者対象の研修会及び懇談会を開催することはできました。

外国語活動のため小学校専属ALTを計画どおり市内全小学校に派遣し、学級担任や教科担任を支援することができました。

運用が始まったGIGAスクール構想によるタブレット端末を学校教育活動に活用できるよう、周辺環境の整備を行いました。また、GIGAスクールサポーターを配置して、サポート体制の充実を図りました。

今後も地域や家庭と連携し、子どもたち一人ひとりに応じた丁寧な教育を推進します。

II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます

各学校の危機管理マニュアルは、洪水ハザードマップの浸水想定に合わせ、学校における避難場所の変更や、防災体制の見直しを行いました。学校防災アドバイザーを活用し、学校における避難訓練の方法や危機管理マニュアルの記載について、専門的な観点から指導・助言をもらい、当該校における防災体制の強化を図りました。通学路の関係では、危険箇所の点検に加え、千葉県八街市で発生した事故を受け、文部科学省から示された新たな観点での点検も実施しました。報告された危険箇所は、道路管理者、警察などの関係機関と合同点検を行い、道路標示の設置や取締り強化などの安全対策を実施しました。

学校給食では、市の地場産農産物を取り入れましたが、全体の給食数に見合う生産量を安定的に確保することが難しい面もあり、使用品目数は目標に達しませんでした。献立では、郷土料理等を取り入れた和食給食や朝倉ゆめまるランチ事業等子ども達が喜ぶ楽しい給食づくりを行いました。さらに、東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、世界各国の代表的な料理を給食に取り入れオリンピック開催の機運を高めました。

新しい学校給食センターの整備では、PFI事業者の募集や入札提案書類の受付、PFI選定委員会による事業者選定、事業契約の締結を着実に進めました。

中学校の運動部活動では、トップアスリートによる講習会を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としましたが、陸上競技講習については、各中学校顧問教員より講師への質問を募り、書面にて練習方法などのアドバイスを受け、その内容を各学校へ伝えました。また、中学校においてトップアスリートによる体育授業も実施しました。

今後も学校における防災体制の強化と通学路の安全確保を図るとともに、新しい学校給食センターの整備を進めていきます。

III. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます

児童館を小学校内の空き教室に移転し、クラブ室や備品の整備を行いました。また、民間事業者による児童クラブの補助を行いました。今後も、児童クラブの利用希望者は一部の地域で増加し、現行の定員のままでは受入が困難となることが予想されるため、学校の余裕教室等を利用して児童クラブの整備を進めます。

地域教育力活性化事業では、オンラインの活用等感染症対策を講じながら、目標どおり実施しました。公民館の家庭教育事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりの事業を実施できない館もありましたが、時間や人数の調整を行うなど、各館が事業内容や開催方法を工夫し、全てで実施することができました。

青少年の健全育成において、家族ふれあいの推進として絵手紙コンクールの優秀作品の展示を通して、コミュニケーションの大切さを呼びかけました。また、インターネットの適正利用について「情報モラル講習会」を実施し、トラブルに巻き込まれることのないよう事例を交えながら啓発しました。さらに、ネットパトロールを実施し、会員制交流サイト(SNS)上の不適切な投稿を複数検知し、当該生徒が在籍する学校へ情報提供しました。

今後も家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます。

IV. 安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます

大規模な地震等における避難者の安全対策を講じることを目的として、平成 28 年度から進めてきた小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策は、全 51 校において完了しました。

また、平成 29 年から実施しているトイレの洋式化事業により小中学校全体の洋式化率は、令和 3 年度末時点で 60.9%となりました。

福井市北部地域学校規模適正化基本計画策定については、森田地区の規模適正化に係る抜本的な対策を講じるため、基本計画の策定に向けた委員会を開催し、関係地域の保護者・住民、関係機関との合意形成を図りながら、新中学校の整備方針や整備スケジュール、施設規模等の具体的な整備計画案を定めた基本計画を策定しました。

今後も安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます。

V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます

公民館の整備について、対象となる公民館の改修に係る実施設計を地元や関係部署と協議を行いながら完了しました。旧公民館解体について、一部公民館の杭の撤去が難航したことや、新型コロナウイルスにより工事を一時中断したため年度内の工事完了が困難となりました。

公民館の教育事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、上半期の事業を中止または延期しましたが、時間や人数の調整を行ったり事業内容や開催方法を工夫し、全館で実施できました。中央公民館の「福井学」講座では、オンラインを活用して幅広いテーマで講座を実施しました。さらに、青年教育事業では、地区成人式関連の事業を中心に、各館で実施しましたが、地域イベントの中止等により、参加者数は目標に達しませんでした。

市民憲章運動の推進では、「福井市を美しくする運動」を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から夏と春は中止しましたが、秋・冬には実施できました。また、花苗即売会は 2 回、花壇コンクール表彰も実施しました。さらに実践目標は、市民へのより一層の浸透を図るため期間を令和 6 年 3 月まで延長するとともに、小中学生に啓発グッズを配布しました。

読書活動の推進では、小学校との連携活動として司書の学校訪問による本の紹介や読み聞かせをはじめ、学校からの図書館訪問の受け入れ、移動図書館車での巡回貸出など、子どもに直接働きかける活動を実施したほか、学校司書等への研修や相談を実施することにより、全小学校との連携活動に取り組みました。また、児童館や認定こども園との交流で、子どもの読書活動を推進し、目標を達成しました。

図書館利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数が伸びず目標を達成することができませんでした。市民 1 人当たりの貸出冊数は各種取組を実施し、目標を達成しました。市立図書館リニューアル事業は、パブリック・コメントの実施により、市民の意見やニーズ等を把握したうえで、設計業務を完了しました。

今後も市民一人ひとりの学びを支援するとともに、市民憲章運動を進めていきます。

VI. 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツライフを支援します

市体育施設利用者数は新型コロナウイルス感染症により全ての体育施設を利用停止にし、市体育館サブアリーナをワクチン接種会場としたため、利用者数の目標を達成できませんでした。体育施設のLED化は、市体育館メインアリーナの照明設備を更新しました。フットボールセンター整備事業では、基本設計及び実施設計を行いました。

スポーツを楽しむ環境づくりでは、スポーツ教室を新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおり開催できなかったため冬の教室を設けるとともに、参加を自粛された方には、自宅等でもできる体操の動画を配信することで目標を達成しました。フルマラソンは、大会名称やロゴマークを決定したほか、大会運営や地域の盛り上げ計画等を記した実施計画書の策定、2年前イベントを実施しました。さらに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う関連事業や全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を開催し、市民のスポーツに対する関心の維持向上に努めました。

今後も市民の生涯スポーツを推進し、スポーツ環境の整備を進めていきます。






VII. 文化遺産を保存し継承するとともに、文化財の公開と活用を進めます



文化財の保存・継承について、貴重な文化財の保存と継承のため、文化財の所有者や保存団体が行う、文化財建造物等の修理、無形民俗文化財の後継者育成等に係る経費に対して支援を行いました。無形民俗文化財各種行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が中止となった行事もありました。



文化財保護センター及びおさごえ民家園、感染対策を行った上で開館し、HPや SNS を通じた情報発信や入館者に楽しんでいただけるよう工夫したことで、利用者や体験学習会参加者数は目標を達成しました。また、「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」では、越前町や南越前町と連携して、ガイドマップを作成するとともに、ローカルフォトスクールを開催し、水仙畑の情報発信の担い手育成を行いました。



今後も文化遺産を保存し継承するとともに、文化財の公開と活用を進めていきます。



I. 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います



1	地域と連携した学校づくり	 4 質の高い教育を みんなに	 11 住み続けられる まちづくりを	達成度	
実行内容					
行動目標	<p>一人ひとりの子どもの育ちを支えていくために、家庭・地域・学校協議会の開催や、教育活動の地域への公開、地域からゲストティーチャー等を迎えて学ぶ機会などを通して、家庭、地域、学校のつながりを強めるとともに、三者が一体となって子どもたちの教育について考え、行動する気運の醸成を図ります。</p> <p>また、地域と関わる学校の取組が、子どもの思いや考えと地域の願いが絡み合うものとなるように、家庭・地域・学校協議会で協議したり地域コーディネーターと連携して取り組みます。</p>				
	<p>○各小中学校において、保護者や地域、ゲストティーチャーと連携した授業や活動の実施</p> <p>○各小中学校において、家庭・地域・学校協議会の開催</p>				
取組内容					
	指 標				
計画			結果・成果		
 IIII ゲストティーチャー・授業ボランティアの活用： 全小中学校1学級当たり延べ5人（元年度） →6人（2年度）→8人（3年度）			 IIII ゲストティーチャー・授業ボランティアの活用： 全小中学校1学級当たり延べ6人		
成果・課題	<p>各学校では、より充実した教育活動を推進するために、専門的な知識や技術をもつゲストティーチャーや授業ボランティアが子どもたちと一緒に授業を行うことで、子どもたちの学びは充実したものになりましたが、コロナの影響により数値目標を達成することはできませんでした。</p> <p>しかし、各学校の状況に合わせて、感染症対策を行った上での授業公開や学年・学校行事などの実施を可能としたところ、多くの小中学校で特色ある教育活動が保護者や地域の方々に公開されました。また、公開ができなくても、動画配信や学校ホームページやブログを使うなど、その都度学校の情報を積極的に発信しました。</p> <p>各小中学校では、年に2～3回程度、家庭・地域・学校協議会を開催（書面開催も含む）し、子どもたちや学校の教育活動などについて協議しました。家庭・地域・学校が一体となって話し合うことで、三者のつながりが強まり、協議会で出された意見が、学校行事等にかされる学校もありました。</p> <p>来年度も、家庭や地域との連携を深め、子どもたちの教育について一緒に考え、行動することができる学校づくりを進めていきます。</p>				



2	学力充実のための教育活動		達成度 
実行内容			
行動目標	<p>全国トップクラスの小中学生の学力がさらに向上するように、一人ひとりの児童生徒に応じたきめ細かな指導を通して学ぶ意欲を引き出し、知識及び技能を活用して思考力・判断力・表現力を育み「確かな学力」の育成を図ります。</p> <p>また、「地域に根ざす『学びの一貫性』」を目指して、中学校区ごとに目指す子どもの姿を共有し、園小中連携の充実に取り組みます。</p> <p>さらに、教職員力量向上研修を実施し、教育の専門職としての力量を高めます。</p>		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査研究委員会の設置（全国学力・学習状況調査結果の分析） ○全国学力・学習状況調査結果の分析と公表、各学校へリーフレット送付 ○全小中学校に学校司書(22名)の配置 ○指導主事による全小中学校への学校訪問及び授業公開(2回) ○全小学校区において園小接続推進の計画と実施 ○教職員目的別研修（力量向上研修対象研修）の実施（28研修(うち1講座中止)、690名参加） ○福井市小学校教員授業力向上研修会（道徳）の実施 ○福井市中学校教員授業力向上研修会（数学）の実施 	
指 標			
計 画		結 果・成 果	
<p>他校（園を含む）への授業公開の実践： 全小中学校1校当たり5回（元年度） →2回（2年度）→3回（3年度）</p> <p>中学校区単位での研究会・研修会・連絡会： 全小中学校1校当たり12回（元年度） →15回（2年度・オンライン含む） →15回（3年度・オンライン含む）</p> <p>Ⓢ教職員力量向上研修の受講：全教職員</p>		<p>他校（園を含む）への授業公開の実践： 全小中学校1校当たり2回</p> <p>中学校区単位での研究会・研修会・連絡会： 全小中学校1校当たり15回</p> <p>Ⓢ教職員力量向上研修の受講：全教職員</p>	
成果・課題	<p>授業や指導の改善に役立てるため、市小中学生の全国学力・学習状況調査結果を分析して、成果と課題に基づいた授業や指導の改善点をリーフレットにまとめ、10月中旬に全小中学校に送付しました。</p> <p>全小中学校に学校司書を配置し、学校図書館の運営や子どもたちの読書活動を推進しました。</p> <p>全小中学校において、指導主事による学校訪問を年2回行い、授業力向上と研究会の充実に取り組みました。また、全小中学校が指導主事学校訪問日の授業を中学校区に公開し、小中連携や研究内容の共有を図りました。この他にも、各中学校区において、これまでの中学校教育を土台とし、園小中の円滑な移行のために連絡協議会や合同研修会等を実施し、学びの一貫性への取組を充実させました。</p> <p>全教職員対象に、授業力向上研修会や、今日的課題に係る目的別研修を実施しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策により、公開授業や出前授業を控えたため、授業公開の実践については、数値目標を達成することができませんでした。</p> <p>来年度は、これまでの取組を踏まえ、コロナ禍においても実施できるよう、オンラインを活用するなど更なる充実に努めていきます。</p>		



3	豊かな心の育成		達成度 
実行内容			
行動目標	道徳教育や人権教育の充実を図るとともに、次代を担う子どもたちが社会の一員としての自覚を持つために、人や自然との触れ合い、幼児演劇鑑賞教室や国際交流作品展などの文化芸術の鑑賞などの様々な体験、読書活動の推進などを通して豊かな心を育てます。		
	取組内容	○幼児演劇鑑賞教室の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ○国際交流作品展の開催：福井市安居中学校と杭州市・私立観成実験学校とのオンライン作品交流	
指 標			
計画		結果・成果	
幼児演劇教室の開催： 中止（2年度）→2日間で3回公演（3年度） （公私立幼稚園・公私立保育園・認定こども園5歳児対象） 国際交流作品展の開催：中止（2年度） →11月19日（金）～11月23日（火） までの5日間（3年度） （杭州市、水原市、フラトン市、ニューブランズウィック市、熊本市、結城市との作品交流）		幼児演劇鑑賞教室の開催：中止 国際交流作品展の開催：代替開催 11月22日（月）14：00～15：30 福井市安居中学校3年生19名と 杭州市の私立観成実験学校2年生生徒によるオンライン作品交流	
成果・課題	<p>幼児演劇教室について、新型コロナウイルス感染症収束のめどが立たなかったため、園児の安全を第一に考慮し、開催を中止しました。</p> <p>国際交流作品展については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、美術館での作品展示・観覧を中止し、代替開催として、福井市の小中学生の代表と友好都市である中国浙江省杭州市とのオンライン交流を開催しました。福井市からは安居中学校の3年生19名、杭州市からは私立観成実験学校の中学2年生20名ほどが参加し、絵画や書写の作品を見せたり、地域や学校の様子を紹介したりして、友好的に交流をすることができました。</p> <p>来年度の実施について、直接作品に触れる場として美術館での展示と観覧が開催できるよう、実施方法を見直していきます。</p>		



4	幼児教育の推進		達成度 
実 行 内 容			
行動目標	<p>全小学校で行う「わくわく交流デー」やスタートカリキュラムを通して、保育園や幼稚園及び認定こども園における教育の成果が小学校に円滑に接続されるようにします。</p> <p>また、小学校区ごとに行われる園小接続会議や公立こども園への園訪問を通して、小学校教員が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等の幼児期の子どもの育ちを理解して小学校教育に接続できるようにしたり、保育者が子どもの多様な「遊びの中の学び」の姿を大切にして、遊びを通した総合的な指導や一人ひとりの特性に応じた指導に生かせるようにしたりします。</p>		
取組内容	<p>○わくわく交流デーの開催：各小学校区での代替開催（直接交流の代替として、小学校から園へ小学校生活を伝える動画や掲示物などを提供）</p> <p>○各小学校区での接続会議の開催：小学校ごとに開催</p>		
指 標			
計 画		結 果 ・ 成 果	
わくわく交流デーの開催と スタートカリキュラムに関する会議：全小学校		わくわく交流デーの開催と スタートカリキュラムに関する会議：全小学校	
成果・課題	<p>「わくわく交流デー」については、新型コロナウイルス感染症対策として、市から各小学校へ具体的な取組方法等について資料を示し、各小学校区での新1年生が小学校入学への安心や期待をもてるような取組を行いました。</p> <p>スタートカリキュラムに関する会議については、計画していたオンライン研修を1月と2月の2回に参加校を振り分け、県の研修と兼ねて行いました。研修の中で今年度の接続の在り方について振り返りました。</p>		

5	特別支援教育の推進		達成度	
実 行 内 容				
行動目標	<p>各小中学校の特別支援教育コーディネーター対象に福井市特別支援教育地区別協議会を開催し、特別支援教育体制の整備に努め、各保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校間の円滑な移行支援を図ります。</p> <p>また、障がい児の就学や支援について、教育支援委員会を設置して就学相談及び教育相談を行います。</p> <p>さらに、いきいきサポーターを小中学校に配置し、発達障がい等で配慮が必要な児童生徒に個別の支援を行います。</p>			
取組内容	<p>○特別支援教育専門委員会の開催 第1回8月25日(オンライン)第2回(12月28日大雪のため中止)第3回(2月24日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 小中学校の特別支援教育コーディネーター対象の連絡会・地区別協議会へ参加してもらう。)</p> <p>○特別支援教育コーディネーターを全小中学校に配置</p> <p>・小中学校の特別支援教育コーディネーター対象に市全域協議会の開催:年3回(4月23日新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催に変更)第2回10月21日(オンライン)第3回1月26日(オンライン)特別支援教育研修:年2回10月21日、1月26日福祉関係者との合同研修会も合わせて開催</p> <p>○令和4年度就学児相談会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため個別対応に変更)教育支援委員会もグループに分けて開催</p> <p>○既就学児童生徒相談会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため個別対応に変更)</p> <p>○教育支援委員会の開催 7回(1回:4月20日、2回:5月20日、3回:7月29・30日、4回:8月17・18日、5回:9月29・30日、6回12月9・10日、7回2月17・18日)</p> <p>○継続的に就学相談を実施</p> <p>○いきいきサポーターを市内全小中学校に84人配置</p>			
指 標				
計画		結果・成果		
<p>特別支援教育コーディネーターの配置:全小中学校 教育支援委員会の開催:8回(元年度) →4回(2年度)→7回(3年度)</p> <p>⑩107 いきいきサポーターの配置:85人(元年度) →85人(2年度)→84人(3年度)</p>		<p>特別支援教育コーディネーターの配置:全小中学校 教育支援委員会の開催:7回</p> <p>⑩107 いきいきサポーターの配置:84人</p>		
成果・課題	<p>特別支援教育の推進に向けて、特別支援教育コーディネーターの参加する市全域協議会を開催するとともに、外部機関との連携や校内支援体制についての研修及び協議を行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園と小学校の連絡会や小中学校連絡会をオンラインで実施し、円滑な移行支援に向けて情報共有をすることができました。また、関係機関が連携した協議会においては、教育と福祉との連携を図るために、福祉関係者等との合同研修会を開催しました。</p> <p>就学相談会及び既習学児童生徒相談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個別対応に変更し、全ての相談において対応することができました。</p> <p>また、いきいきサポーターを84名配置し、通常学級で特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実を図りました。</p>			




6	学校不適應児童生徒の支援		達成度 
実行内容			
行動目標	<p>学校不適應児童生徒の教育相談等、支援の充実に努めます。また、適應指導教室において児童生徒の学びの場や心の居場所づくりを行います。実効性のある指導体制や組織的な相談体制を構築し、家庭、地域、学校及び各関係機関が情報を共有して、適切な支援体制づくりに努めます。</p>		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学校不適應児童生徒の教育相談等、支援の充実のため、県の事業と連携したスクールカウンセラーの全小中学校への配置 ○チャレンジ教室における保護者対象の研修会（第1回親の会）の開催（6月10日） ○チャレンジ教室における第1回保護者懇談会の開催（9月26日） ○いじめ、虐待に関する調査の実施（5月） ○チャレンジ教室における保護者面談の開催（2月10日～25日） ○いじめ、虐待に関する調査の実施（12月） 		
指 標			
計 画		結 果・成 果	
<p>小学校カウンセラーの出動数（カウンセラー1人当たり）： 100回（元年度）→80回（2年度） →80回（3年度）</p> <p>チャレンジ教室における保護者対象の研修会 及び懇談会： 5回（元年度）→2回（2年度）→4回（3年度）</p> <p>いじめに関する調査の実施・分析： 全小中学校 毎月1回</p>	<p>小学校カウンセラーの出動数（カウンセラー1人当たり）： 74回</p> <p>チャレンジ教室における保護者対象の研修会 及び懇談会：2回</p> <p>いじめに関する調査の実施・分析： 全小中学校 毎月1回</p>		
成果・課題	<p>スクールカウンセラーについては、県の事業と連携して全小中学校への配置を行い、相談活動を実施しました。派遣の回数は、数値目標に達することができませんでしたが、1回の派遣時間を長くすることで、保護者や児童生徒との面談時間を十分に確保するようにしました。今後も、保護者や児童生徒の要望に適切に対応できるよう努めていきます。</p> <p>チャレンジ教室における保護者対象の研修会及び懇談会については、上半期は予定通り開催することができましたが、下半期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を行うことができませんでした。来年度は、保護者対象の研修会・懇談会をオープンスクールのような、児童生徒の活動の参観とあわせて開催することで、より多くの保護者に参加をしてもらうように取り組んでいきます。</p> <p>いじめに関する調査の実施・分析については、毎月各学校で起きたいじめの対応等の調査を行い、きめ細かな対応につなげました。また、虐待の恐れのある家庭については、子ども福祉課と情報を共有し、関係機関との連携強化に努めました。</p>		




7	国際理解の推進		達成度	
実 行 内 容				
行動目標	<p>小学校では令和2年度から新学習指導要領に基づいて、5・6年生は週2回の外国語科、3・4年生は週1回の外国語活動を行っています。</p> <p>小学校3・4年生と5・6年生の全学級にALTを、それぞれ年間9回、24回派遣し、学級担任又は教科担任が行う外国語活動及び外国語の授業を支援します。</p>			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校専属ALTによる小学校訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・12人の小学校専属ALTが、5、6年生の外国語科の授業については月に2～3時間、3、4年生の外国語活動の授業については月1時間程度、授業者を支援 ○市教委担当者と小学校専属ALTの情報交換 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、順化小のALTオフィスにて、情報交換や打ち合わせ確認等を実施 ○福井市教職員目的別研修への講師としての参加 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に開催された福井市教職員目的別研修で、小学校専属ALTが講師となって講座を担当 			
指 標				
計画		結果・成果		
戦総 105 ALTの年間派遣回数： 27回（元年度）→30回（2年度）→33回（3年度）		戦総 105 ALTの年間派遣回数：33回		
成果・課題	<p>今年度も年度初めに立てた計画どおり、小学校専属ALTを市内全小学校に派遣し、学級担任や教科担任を支援することができました。今年度から、1校1ALT制を取り入れたことで、学校とALTの打ち合わせが容易になり、学校とALTとの関係性がこれまでよりもよくなりました。</p> <p>日頃の授業では、ALTが児童のコミュニケーション活動の手本や相手となって、授業を支援したり、児童が楽しめる活動を提案したりと、児童が英語に興味・関心をもてるように工夫することができました。</p> <p>ALTが講師を担当した夏季休業中の研修では、夏季休業明けにすぐに実践できるような活動を紹介したことで、全ての参加者から「大変満足であった」という感想を得ました。</p> <p>望ましいALTの活用方法について学校に伝えていくと同時に、よりよい支援ができるようALT自身の力量向上を目指していきます。</p>			




8	情報教育と教育の情報化の推進		達成度 
実行内容			
行動目標	ICTを活用した教育を推進するために、ICT環境の整備を進めるとともに、GIGAスクールサポーターを学校に配置し、現場でのトラブルに対応することで、児童生徒や教員の情報活用能力の向上や事務の効率化を図ります。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市内4つの拠点校にGIGAスクールサポーターを配置し、要望に応じて学校に出向き、機器のトラブルに対応 ○プログラミング教育の実施に向けて、福井市教職員目的別研修で研修を実施 ○全小学校5年生にプログラミング教育に関する授業を実施 ○プログラミング教育に関する授業で、タブレットを活用した授業を公開 ○GIGAスクール構想で導入したタブレットを活用するための研修会を福井市教職員課題別研修として設定するとともに、教育研究会や各学校に向いて実施 ○指導主事訪問や教育ウィーク等の学校公開期間において、タブレット等のICTを用いた授業公開を小・中学校で実施 		
指 標			
計 画		結 果・成 果	
GIGAスクール構想に基づく1人1台の端末を活用した授業の公開：全小中学校 ④小学校5年生全学級でのプログラミング授業の実施：全小学校		GIGAスクール構想に基づく1人1台の端末を活用した授業の公開：全小中学校 ④小学校5年生全学級でのプログラミング授業の実施：全小学校	
成果・課題	<p>本年度から運用が始まったGIGAスクール構想によるタブレット端末を学校教育活動に活用できるよう、クラウドの整備やアプリケーションの導入、フィルタリングの管理を行ってきました。現場で起こるトラブルに関しては、市内4か所の拠点校に配備したGIGAスクールサポーターが、学校に駆けつけて対応したり、使い方を指導したりと、サポート体制を充実させてきました。</p> <p>加えて、集合型の研修をはじめ、校内研修に指導主事が参加するなど研修を充実させました。学校での端末活用が広まり、指導主事訪問等で全ての学校でタブレットを使った授業公開も行われました。</p> <p>さらに、小学校のプログラミング教育の充実に向け、子どもたちを指導する小学校の教員に加え、アシスタントとして授業に入る福井大学の学生に対しても計画的に研修を実施しました。</p> <p>プログラミングの授業は、教育委員会の配布したカリキュラムをもとに、総合的な学習の時間に全ての小学5年生に行いました。その中で、全小学校がタブレットを活用した授業を公開しました。</p>		




9	キャリア教育の推進		達成度	
実行内容				
行動目標	<p>児童生徒が夢や希望を持ち、将来社会人として自立することができるようキャリア教育を推進します。その中で、福井市キャリア教育プログラムや小学校の社会見学・職場見学、中学校で福井市キャリア教育プロジェクトを実施します。また、児童生徒のキャリア教育を支援するために、福井市キャリア教育連絡協議会を開催します。</p>			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○福井市キャリア教育プログラムを小中学校合わせて269学級で実施 ○キャリア教育連絡協議会の開催(5月6日、9月24日、1月7日、3月18日) <ul style="list-style-type: none"> ・各種経済団体と役所担当課との情報共有 ・プログラムの検討 ・プログラムの実施の流れの見直し ○中学校における職場体験学習の代替学習のサポート ○中学校におけるキャリア教育年間指導計画のサポート ○福井市キャリア教育連絡協議会の周知 			
指 標				
計 画		結 果・成 果		
<ul style="list-style-type: none"> ③ 106 福井市キャリア教育プログラムを活用した学級の割合：99%（元年度）→82%（2年度）→100%（3年度） ④ 小学校の社会見学・職場見学の実施：全小学校1校当たり4日（元年度）→3日（2年度）→3日（3年度） 中学校のキャリア教育プロジェクトの実施：20校（元年度）→18校（2年度）→全中学校（3年度） 		<ul style="list-style-type: none"> ③ 106 福井市キャリア教育プログラムの実施学級割合：100% ④ 小学校の社会見学・職場見学の実施：全小学校1校当たり3.6日 中学校キャリア教育プロジェクトの実施：全中学校 		
成果・課題	<p>福井市キャリア教育連絡協議会を開催し、キャリア教育プログラムについての見直しやコロナ禍での実施のガイドライン等について協議しました</p> <p>また、キャリア教育コーディネーターが、依頼のあった中学校のキャリア教育の指導計画の立案を支援しました。</p> <p>来年度は、既存のプログラムに加え、学校現場の意見や要望を取り入れたプログラムを新たに構築するなど、取組を更に充実させていきます。</p>			

II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます








10	通学環境の整備及び安全対策の充実			達成度	
実 行 内 容					
行動目標	<p>全小中学校において、交通事故・犯罪・災害など様々な危険から身を守る対処の仕方について、安全教育や避難訓練等を通して学び、児童生徒自ら安全な行動ができる力の育成に努めます。また、市のハザードマップの改訂に合わせて、各学校が作成している危機管理マニュアルの再確認と見直しを行います。</p> <p>福井市通学路安全推進会議において、交通安全・防犯・防災の各観点から通学路の合同点検や安全対策を実施し、児童生徒が安心して登下校できるよう通学環境を整えます。</p>				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練の実施 : 小中学校 75 校 実施率 100% ○学校防災アドバイザーの派遣 : 11 校 ○洪水ハザードマップの改訂に伴い、各学校の危機管理マニュアルの見直し : 全小中学校 ○通学路安全推進会議の開催 : 6月22日、8月10日、9月15日、10月8日 (①学校から通学路の危険箇所として報告された、交通安全 106 か所、防犯 13 か所、防災 13 か所について安全対策の検討・実施 ②千葉県八街市の事故を受け新たな観点での通学路危険箇所について、小学校 108 か所、中学校 31 か所の安全対策の検討・実施) ○通学路安全合同点検の実施 : 8月23日、26日 点検数 16 か所 ○千葉県八街市の事故を受けた通学路危険箇所の合同点検 : 9月21日、27日、28日、29日 点検数 36 か所 ○通学路の危険ブロック塀のフォローアップ調査 : 149 か所 ○通学路照明灯の設置 : 4 基 (大東中学校区、叢中学校区) 			
指 標					
計 画			結 果・成 果		
<p>① 108 児童・生徒自らが考え行動できる 学校防災教育の実施率：100% 危機管理マニュアルの見直し：全小中学校 通学路安全推進会議の開催及び交通安全・防犯・防災の各合同点検の実施：会議 3 回、合同点検 1 回 通学路照明灯の設置要望のうち、市の設置基準を満たし設置する基数：4 基 (3 年度)</p>			<p>① 108 児童・生徒自らが考え行動できる 学校防災教育の実施率：100% 危機管理マニュアルの見直し：全小中学校 通学路安全推進会議の開催及び交通安全・防犯・防災の各合同点検の実施：会議 4 回、合同点検 2 回 通学路照明灯の設置要望のうち、市の設置基準を満たし設置する基数：4 基</p>		
成果・課題	<p>各学校の危機管理マニュアルについて、洪水ハザードマップの浸水想定に合わせ、学校における避難場所の変更や、防災体制の見直しを行いました。また、11 校に学校防災アドバイザーを活用し、学校における避難訓練の方法や危機管理マニュアルの記載について、専門的な観点から指導・助言をもらい、当該校における防災体制の強化を図ることができました。</p> <p>通学路関係では、学校において毎年 4 月に実施している通学路の危険箇所の点検に加え、6 月に千葉県八街市で発生した事故を受け、文部科学省から示された新たな観点での点検も実施しました。報告された危険箇所については、道路管理者、警察などの関係機関と合同点検を行い、道路標示の設置や取締り強化などの安全対策を実施しました。</p> <p>ハード面での対策が困難な箇所については、児童生徒の安全確保のため、可能な対策（通学路の変更等）を検討し、学校や各関係機関と連携した対応を継続的に行っていきます。</p>				




11	楽しくおいしい学校給食の実施			達成度	
実行内容					
行動目標	<p>地場産食材の使用や和食の推進を図り、「ふくい」の食を取り入れながら、子どもたちに安全・安心でおいしい給食を提供します。</p> <p>「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を記念して、世界各国の代表的な料理を給食献立に取り入れ、児童生徒がその国の特徴や食文化を理解できるようにします。また、栄養教諭・学校栄養職員と教職員が連携し、学校給食や様々な活動を通して食育を推進します。</p>				
	取組内容	<p>○福井市農産物使用品目数 : 21 品目</p> <p>○学校給食における和食給食の実施割合 : 60.6%</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピック応援給食の実施 : 7回 (4、5、7、9、10、12、1月)</p> <p>4月ギリシャ : ケフテス、ホリアティキサラダ、ファソラーダ</p> <p>5月フランス : 鮭のムニエル風、ポテトリヨネーズ、ジュリアンスープ</p> <p>7月スロベニア : リュブリャナ風シュニツェル、スロベニア風サラダ、ユーハ</p> <p>9月中 国 : 五日チャーハン、揚げぎょうざ、春雨スープ、杏仁豆腐</p> <p>10月アメリカ : チリ・コン・カルネ、コーンチャウダー</p> <p>12月イタリア : ミラノ風カツレツ、ミネストローネ</p> <p>1月ドイツ : フランクフルト、フライドポテト、アイントプフ</p>			
指 標					
計 画			結 果・成 果		
<p>⑦⑦ 福井市産農産物使用品目数 : 25 品目 (元年度) → 20 品目 (2 年度) → 25 品目以上 (3 年度)</p> <p>①①① 学校給食における和食給食の実施割合 : 年間 59.1% (元年度) → 年間 59.7% (2 年度) → 年間 60% 以上 (3 年度)</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック給食の実施 : 年間 5 回 (元年度) → 年間 6 回 (2 年度) → 年間 7 回 (3 年度)</p>	<p>⑦⑦ 福井市産農産物使用品目数 : 21 品目</p> <p>①①① 学校給食における和食給食の実施割合 : 年間 60.6%</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック給食の実施 : 年間 7 回</p>				
成果・課題	<p>市の地場産農産物は、納入業者や園芸センターなど関係機関と連絡調整を行い、取り入れましたが、全体の給食数に見合う生産量を安定的に確保することが難しい面もあり、21 品目にとどまりました。しかし、地魚消費応援事業を活用して、4 品目の地場産水産物を給食に取り入れることができました。子ども達は栄養教諭等の食育指導で、福井市の地場産物への理解を深めることができました。</p> <p>また、郷土料理等を取り入れた和食給食を実施するとともに、朝倉ゆめまるランチ事業等子ども達が喜ぶ楽しい給食づくりを行いました。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせて、世界各国の代表的な料理を給食に取り入れしました。給食時間の校内放送や栄養教諭等の食育指導等で各国の特徴や食文化及び特産品、首都等を子ども達に伝えることで、各国に親しみを持つことやオリンピック開催への機運を高めることができました。</p> <p>今後も計画的に、地産地消や食育の推進に努め、子ども達が喜ぶ、安全安心でおいしい給食を提供するとともに、フェイスブックで給食に関する情報を発信し、学校及び家庭での食育に繋げていきます。</p>				




12	学校給食施設の充実			達成度	
実 行 内 容					
行動目標	<p>子どもたちに安全・安心でおいしい学校給食を将来に渡って安定的に提供していくため、新たな学校給食センターを整備します。新学校給食センターでは、ドライシステムの導入や衛生区分の明確化により、徹底した衛生管理を行います。また、食物アレルギー専用調理室を設置し、食物アレルギーに対応した給食を提供します。</p> <p>今年度は、新学校給食センターの整備運営を行う事業者を募集・選定し、その後、事業契約の締結を行う予定です。なお、新学校給食センター整備運営事業は、PFI方式（※1）により進めていきます。</p> <p>※1 PFI方式</p> <p>公共施設等の整備・運営を行うにあたり、設計・建設から、その後の維持管理、運営までの業務を、長期間にわたり一括して民間事業者委ねる事業手法</p> <p>民間事業者が持つ経営能力や技術的能力などを活用し、従来手法（公共工事）に比べて、少ない財政負担でより良い住民サービスを提供することを目指す。</p>				
	取組内容	<p>○事業者の募集・選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札公告（4月） ・入札説明書等に関する説明会（4月） ・入札説明書等に関する第1回質問の受付・回答（5月） ・入札参加表明書、参加資格審査申請書類の受付（6月） ・入札参加資格審査結果の通知（7月） ・入札説明書等に関する第2回質問の受付・回答（7～8月） ・入札提案書類の受付、入札及び開札（8月） ・第3回PFI選定委員会（9月） ・第4回PFI選定委員会による最優秀提案の選定（10月） ・落札者決定（10月） ・客観的評価の結果および審査講評の公表（11月） <p>○事業者との契約、事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約議案の議会への提出・仮契約締結（11月～12月） ・事業契約締結の議決（12月議会） ・新学校給食センター整備運営事業開始（1月） 			
指 標					
計 画			結 果 ・ 成 果		
新学校給食センター整備運営事業者の募集・選定、事業契約			新学校給食センター整備運営事業者の募集・選定、事業契約		
成果・課題	<p>PFI事業者の募集や入札提案書類の受付、PFI選定委員会による事業者選定、事業契約の締結を着実に進めました。</p> <p>また事業開始後は、設計業務だけでなく、上下水道、道路などのインフラ整備や配膳室改修の関連事業においてもPFI事業者と綿密に協議を行い、新学校給食センター整備運営事業を着実に進めていきます。</p>				

13	中学校運動部活動の充実			達成度	
実 行 内 容					
行動目標	<p>高度な指導力を持つ地域の指導者を外部の専門指導者として活用するとともに、福井国体出場選手や県内実業団クラブチームの選手等のトップアスリートによる実技講習会を開催し、中学校運動部活動や体育授業の充実を図ります。</p> <p>学校においては、「福井市中学校における部活動の方針」に基づき、決められた活動時間内で合理的かつ効率的・効果的な指導を推進するための教職員対象の研修会を実施します。</p>				
取組内容	<p>○トップアスリートによる体育授業の開催 : 6校 ・講師：ユティック陸上競技部、北電ハンドボール部、日本ストリートダンス協会</p> <p>○トップアスリートによる講習会（実技指導）の開催 : 0回 (新型コロナウイルス感染症拡大のため)</p> <p>①競技：陸上競技 講師：トヨタ自動車陸上部 実施時期：2月26日（土）中止 ②競技：ソフトテニス 講師：福井県ソフトテニス連盟 実施時期：2月12日（土）中止</p> <p>○最新トレーニングに関する研修会の実施 : 7/21 希望教職員（49名）対象に実施</p> <p>○外部専門指導者の委嘱者数 : 44名（17校） 派遣希望校に対して100%実施</p> <p>○部活動に係る活動方針の策定と保護者への公開 : 全中学校</p> <p>○運動部活動指導の校内研修等の実施 : 全中学校</p>				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
<p>⑩ 109 トップアスリート（国体出場選手）や一流指導者による実技指導の回数：2回 最新トレーニングに関する研修会（教職員対象）の実施：1回</p>			<p>⑩ 109 トップアスリート（国体出場選手）や一流指導者による実技指導の回数：0回 最新トレーニングに関する研修会（教職員対象）の実施：1回</p>		
成果・課題	<p>国内トップアスリートによる講習会（①トヨタ自動車の社会貢献事業を活用した陸上競技講習会②福井県ソフトテニス連盟所属選手招いての実技講習会）を2月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。なお陸上競技講習については、直接指導を受けることはできませんでしたが、各中学校顧問教員より講師への質問を募り、書面にて練習方法などのアドバイスを受け、その内容を各学校へ伝えました。</p> <p>中学校6校においてトップアスリートによる体育授業を実施しました。体を動かすことの楽しさを体感させることと合わせて、技術、マナー、心構え等についても指導を受け、技能面と精神面の向上を図りました。</p>				

Ⅲ. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます

14	放課後児童クラブの整備			達成度	
実 行 内 容					
行動目標	<p>共働き家庭や核家族が増加している中、放課後留守家庭児童を健全に育成するため、安全な生活の場と適切な遊びを提供し、保護者が安心して仕事に専念できる環境を整えます。</p> <p>また、放課後児童クラブの利用希望者が増加していることから、第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、小学校の余裕教室や市有施設等を活用した放課後児童クラブの整備と既存施設の老朽化対策等を進めます。</p> <p>さらに、放課後児童クラブの持続的な運営と質の高い児童への支援を確保するため、職員の資質向上や課題解消に向けた対策に取り組みます。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年4月現在、児童クラブ82カ所 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童会 29カ所、児童クラブ 53カ所 ○あさがお児童館で実施している児童クラブを麻生津小学校内の空き教室に移転 ○児童クラブ職員の人材不足や負担増などの課題解消に向け、市が委嘱した学童保育巡回アドバイザーの派遣による各クラブ運営等の支援を実施 ○民間事業者の学童保育施設新規設置に補助を実施 ○新1年生及び将来の児童数の推移予測を基に、新たに整備が必要な地区を検証 ○令和4年度入会に向け、児童クラブ等に対する申込状況の確認及び調整 				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
  44 放課後留守家庭児童の受入：100%			  44 放課後留守家庭児童の受入：100%		
成果・課題	<p>児童館1か所（麻生津）を小学校内の空き教室に移転し、クラブ室や備品の整備を行いました。</p> <p>また、民間事業者による児童クラブの新規設置（森田、鷹巣）に対する補助を行いました。</p> <p>今後も、児童クラブの利用希望者は一部の地域で増加し、現行の定員のままでは受入が困難となることが予想されるため、学校の余裕教室等を利用して児童クラブの整備を進めます。余裕教室等の利用が見込めない場合は、既存施設の改修により定員数の増加を図ります。</p> <p>児童クラブ職員の人材確保が課題となっている中、発達障がいやその傾向がある児童の対応で職員の負担が増加している現状があるため、専門知識をもつ学童保育巡回アドバイザーを各クラブに派遣し、助言等の支援を行いました。</p> <p>次年度においても、課題解消に向けた事業を継続して進めます。</p>				

15	家庭や地域の教育力の向上			達成度	
実 行 内 容					
行 動 目 標	<p>PTAと連携し、地域教育力活性化事業を行うなど、青少年の健全育成に向けた地域の教育力を高めるための取組を支援します。</p> <p>また、親子の成長や学びを支えるため、親などを対象とした「家庭教育事業」をすべての公民館で実施します。</p>				
取 組 内 容	<p>○地域教育力活性化事業 市内小中学校の単位PTAを5つのブロックに分け、各ブロックで事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(Aブロック) 地域教育に関する研修・意見交換会(10月) …対象：保護者、地域住民 ・(Bブロック) 家庭教育講演会(7月) …対象：保護者、地域住民 ・(Cブロック) PTA活動の冊子作成・配布(2月) …対象：保護者、地域住民 ・(Dブロック) コミュニケーションセミナー(11月) …対象：児童、保護者、地域住民 ・(Eブロック) オンライン研修(9月、2月) …対象：保護者、地域住民 <p>○中央公民館及び地区公民館(一光公民館を除く)の49公民館で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館：いきいき子育てサロン ・地区公民館：子育て講演会・相談会、親子ふれあい講座 など 				
指 標					
計 画			結 果 ・ 成 果		
<p>地域教育力活性化事業の実施：全5ブロック 家庭教育事業の実施：全公民館(一光公民館を除く)</p>			<p>地域教育力活性化事業の実施 ：全5ブロック 家庭教育事業の実施 ：全公民館(一光公民館を除く)</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>地域教育力活性化事業については、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、オンラインの活用等感染症対策を講じながら、目標どおり全5ブロックで実施しました。今後もPTAと連携し、地域における教育力の向上を目指します。</p> <p>公民館の家庭教育事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を制限したため、計画どおりの事業を実施できない館もありましたが、時間や人数の調整を行うなど、各公民館が事業内容や開催方法を工夫し、全ての公民館で実施することができました。</p> <p>来年度も、感染対策に注意して、地域全体で親子の成長や学びを支える学習機会の提供に努めます。</p>				

16	家族ふれあいの推進とインターネットの適正利用			達成度	
----	-------------------------------	--	---	------------	---

実 行 内 容

行動目標

青少年の健全育成のため、家族のふれあいやコミュニケーションの大切さを呼びかけ、明るい家庭づくりを推進します。

また、生活習慣の乱れや犯罪被害を防止するため、インターネットの適正利用にかかる啓発活動を行います。併せて、4月から新たにネットパトロールにも取り組みます。

取組内容

- 「家族ふれあい」絵手紙コンクールの実施〔募集期間：7月1日～9月6日〕
 - ・応募数：4,916点
 - ・表彰式：11月7日（ハピリン）入賞作品80点を選出
 - ・優秀作品展示：11月6日～7日（ハピリン）、11日～14日（パリオ）、17日～23日（市美術館）25日～28日（ベル）、12月3日～12日（県ふるさと文学館）
- 情報モラル講習会の開催
 - ・講師派遣：小学校35校(84回) 中学校16校(21回) 合計51校(105回)
〔うち保護者参加：10校(14回)、教職員対象：1校(1回)〕
チャレンジ教室1回、青少年育成福井市民会議光ブロック1回
 - ・自校開催：全小中学校（小学校52校、中学校28校）
- ネットパトロールの実施
 - ・学校名などのキーワードをもとに、SNS上の不適切な投稿を検索
〔検知した不適切な投稿数：680件〕

危険度	内 容	件数(件)
低	・自分自身の個人情報の公開(氏名、学校名、顔写真など)	660
中	・自分自身の詳細な個人情報の公開、他人の個人情報の公開	10
	・個人を特定した誹謗中傷	4
	・自傷行為等	0
	・暴力、問題行動(飲酒、喫煙等)、わいせつ表現(写真など)	6
高	・犯罪、自殺などの生命に関わるもの等	0
合 計		680

指 標

計 画

結 果・成 果

「家族ふれあい」絵手紙コンクール優秀作品展示： 4回（元年度）→4回（2年度）→5回（3年度）	「家族ふれあい」絵手紙コンクール優秀作品展示： 5回
--	-------------------------------




成果・課題




家族ふれあいの推進については、絵手紙コンクールを開催し、優秀作品の展示（市内5か所）を通して、コミュニケーションの大切さを呼びかけました。来年度は、地域において青少年の健全育成に取り組んでいる「青少年育成福井市民会議」とも連携し、明るい家庭づくりを進めます。

インターネットの適正利用については、市職員が「情報モラル講習会」を107回（R2年度：67回）実施し、トラブルに巻き込まれることのないよう事例を交えながら啓発しました。今年度は、特に、小学校からの講師派遣要請が増え（3年度：84回、2年度：38回）、要因としては、全ての学年において携帯電話やスマートフォンの所持率が前年度より上がり、情報モラル教育の必要性が高まっていることが考えられます。




ネットパトロールについては、会員制交流サイト(SNS)上の不適切な投稿を複数検知しました。その内、自宅や個人が特定される恐れがあるものや誹謗中傷を行っている投稿などが20件あり、これらについては当該生徒が在籍する学校へ情報提供しました。引き続き、学校と連携しながら児童生徒の非行・被害防止に努めます。




IV. 安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます



18	学校体育館の防災機能強化			達成度	
実 行 内 容					
行動目標	拠点避難所である小学校体育館の安全性を確保するため、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り落下防止対策を講じます。				
取組内容	○窓ガラス飛散防止対策工事 4校 … 7月着工、1月完了 （東安居小学校、春山小学校、宝永小学校、日之出小学校） 4校 … 12月着工、3月完了 （鶉小学校、一光小学校、殿下小学校、越廼小学校）				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
窓ガラス飛散防止対策事業 ①113 飛散防止対策実施率：74.5%（元年度） →84.3%（2年度）→100%（3年度）			窓ガラス飛散防止対策事業 ①113 飛散防止対策実施率：100%（3年度）		
成果・課題	大規模な地震等における避難者の安全対策を講じることを目的として、平成28年度から進めてきた小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策は、今年度に残りの8校を実施し、全51校において完了しました。				



19	学校生活環境の整備			達成度	
実行内容					
行動目標	<p>子どもたちが安心して学び、快適に学校生活を送ることができるよう、トイレの洋式化等の環境整備を進めるとともに、児童生徒数が急増している森田地区において学校規模の適正化を図るための基本計画を策定するとともに、スピード感を持って整備に向けた準備に取り組みます。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ洋式化改修工事 小学校6校（58基）、中学校5校（36基）… 10月着工、3月完了 ・体育館トイレ洋式化改修工事 小学校9校（10基）、中学校7校（12基）… 12月着工、3月完了 ・福井市北部地域学校規模適正化基本計画策定 <ul style="list-style-type: none"> 第1回策定委員会 7月20日「森田小・中学校の課題整理と具体的方策について」ほか 第2回策定委員会 9月2日「森田小学校2校化の校区の区分について」ほか 第3回策定委員会 10月4日「中間報告」、「各学校の整備方針について」ほか 第4回策定委員会 11月25日「新中学校及び小学校の整備方針」ほか 第5回策定委員会 2月15日「基本計画（案）の決定」 				
指 標					
計画			結果・成果		
学校生活環境整備事業 トイレ洋式化整備校数：11校 福井市北部地域学校規模適正化基本計画策定： 3月末			学校生活環境整備事業 トイレ洋式化整備校数：24校 （うち体育館トイレ洋式化整備校数：16校） 福井市北部地域学校規模適正化基本計画策定： 3月末		
成果・課題	<p>平成29年から実施しているトイレの洋式化事業により、令和2年度中に全小中学校の大便器の洋式化率50%を達成しましたので、本年度は、学校規模や児童生徒数等を考慮し、慢性的な洋式トイレ不足が顕著となっている大規模校を中心に洋式化を進めました。</p> <p>また、拠点避難所となっている学校体育館のトイレについては、男女別で見た場合、その洋式化率が50%に満たない学校がありましたので、全ての学校が男女別それぞれ50%以上となるよう改善を図りました。</p> <p>これにより、小中学校全体の洋式化率は、令和2年度末の57.0%から令和3年度末時点で60.9%となりました。</p> <p>福井市北部地域学校規模適正化基本計画策定については、森田地区の規模適正化に係る抜本的な対策を講じるため、基本計画の策定に向けた委員会を開催し、関係地域の保護者・住民、関係機関との合意形成を図りながら、新中学校の整備方針や整備スケジュール、施設規模等の具体的な整備計画案を定めた基本計画を策定しました。</p> <p>今後は、本計画に基づき、河合・森田地区を新校区とする新たな中学校を整備するとともに、森田小学校の2校化を着実に進めていきます。</p>				

V. 市民一人ひとりの自主的な学習の活動を支援し、市民憲章運動を進めます



20	公民館施設の整備			達成度	
実行内容					
行動目標	公民館の新築及び改修は、施設の老朽化、地区の人口水準でみた施設の狭あい度、耐震性、災害警戒区域に照らした立地環境などを総合的に勘案し、本市が推進する施設マネジメント計画及び財政再建計画（平成 30 年度～令和 5 年度）の取組方針も踏まえながら、近隣公共施設との複合化等も含め計画的に整備を進めます。				
	取組内容	○越廼公民館長寿命化改修工事実施設計 ・令和 3 年 6 月 3 日 越廼地区自治会役員会（改修についての説明） ・令和 3 年 8 月 10 日 設計業務発注 ・令和 4 年 2 月 25 日 設計完了 ○湊公民館 ・令和 3 年 6 月 28 日 耐震再診断業務発注（⇒結果：耐震性なし） ・令和 3 年 10 月 28 日 設計業務発注 ・令和 4 年 3 月 11 日 設計完了 ○旧順化公民館解体工事 ・令和 3 年 6 月 7 日 工損調査発注 ・令和 3 年 8 月 12 日 解体工事発注 ・令和 4 年 2 月 25 日 工期変更（3 月 4 日 ⇒ 4 月末） ○旧一乗公民館解体工事 ・令和 3 年 6 月 21 日 工損調査発注 ・令和 3 年 8 月 12 日 解体工事発注 ・令和 3 年 12 月 17 日 工事完了			
指 標					
計 画			結 果・成 果		
公民館整備設計：2 館（2 月完了） 越廼公民館（長寿命化改修）・湊公民館（耐震改修） 旧公民館解体：2 館 順化公民館・一乗公民館 ◎115 公民館の耐震化率： 92.7%（2 年度）→92.7%（3 年度） 参考：本年度設計館の整備完了後の耐震化率 94.5%（4 年度）			公民館整備設計：2 館 越廼公民館（長寿命化改修）・湊公民館（耐震改修） 旧公民館解体：1 館 一乗公民館 ◎115 公民館の耐震化率：92.7% 参考：本年度設計館の整備完了後の耐震化率 94.5%（4 年度）		
成果・課題	越廼公民館の長寿命化改修設計と湊公民館の耐震改修設計については、地元や関係部署と協議を行いながら進め、実施設計を完了しました。今後は、改修内容や工程等について地元説明を行い、関係部署と連携しながら工事を進め、令和 4 年度中の完成を目指します。 旧公民館解体については、旧一乗公民館を、年度内に解体し、敷地についても地権者に返還しました。 しかしながら、旧順化公民館の解体については、杭の撤去が難航したことや、新型コロナウイルスの影響により工事を一時中断したことから、当初予定の年度内での工事完了が困難となりました。今後は、4 月末の工事完了を目指します。				



22	市民憲章運動の推進			達成度	
実行内容					
行動目標	市民憲章実践目標の更なる浸透を図るため、これまでの市民憲章唱和や福井市を美しくする運動（市民一斉清掃）の実施に加えて、学校への普及啓発を推進します。				
取組内容	<p>○市民憲章の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部活動の実施 49 支部 市民憲章推進協議会には 49 の支部(市内全地区)があり、市民憲章の普及啓発活動や、憲章の項目に沿った 5 つの部門で、美化活動や健康づくり運動などの実践活動を実施 <5 つの部門> 親切奉仕、健康増進、郷土美化、安全安心、文化教養 ・花苗即売会の実施（4 月、7 月） ・総会にて実践目標の期間延長（令和 4 年末→令和 6 年末）を決議（6 月） ・優良実践者表彰（6 月） ・市民憲章啓発グッズ（マグネットステッカー）を全小学 3 年生、全中学 2 年生へ配布（8 月） ・花壇コンクール表彰及びパネル展示を実施（11 月） ・「福井市を美しくする運動」（秋・冬 11 月）を実施 ・ホームページ、SNS 等で情報発信 				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
市民憲章運動の普及啓発 支部活動の実施：全支部（49 支部） 啓発グッズの配布：全小学 3 年生、全中学 2 年生			市民憲章運動の普及啓発 支部活動の実施：全支部（49 支部） 啓発グッズの配布：全小学 3 年生、全中学 2 年生		
成果・課題	各支部では、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、事業内容や活動方法を工夫しながら、各支部において、地域の特性に応じた幅広いテーマで活動を実施しました。 「福井市を美しくする運動」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、夏（7 月）と春（3 月）は中止しましたが、秋・冬（11 月）は実施しました。 一方、花苗即売会は 4 月、7 月の計 2 回、また、花壇コンクール表彰も予定どおり実施し、福井のまちを彩る市民活動を推進しました。 市民憲章の実践目標については、市民へのより一層の浸透を図るため期間を令和 6 年 3 月まで延長するとともに、小中学生に啓発グッズを配布しました。 今後も市民憲章の普及啓発のため、各種事業に取り組みます。				

23	読書活動の推進		達成度	
実 行 内 容				
行動目標	<p>子どもたちの読書活動を促進するため、小学校との連携活動や児童館や認定こども園等との交流に取り組みます。</p> <p>また、市立図書館は郷土資料や貴重書を活用した行事、みどり図書館は子育て世代を対象とした企画、桜木図書館はまちなかのにぎわいをつくるイベントなど、各館の特色を生かした事業を実施します。</p> <p>これらの活動を通して、多くの市民が図書館や読書に興味・関心を持つ機会を創出し、読書活動を推進します。</p>			
	取組内容	<p>○小学校との連携活動 : 全小学校</p> <p>○児童館や認定こども園との交流 : 190回</p> <p>○各館の特色を生かした事業の実施: 107回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館 : 12回 貴重書展示「文京2丁目からこんにちは」 福井歴史講座「越前松平家にみる大名の格差」、「参勤交代と江戸時代の旅」 郷土歴史博物館連携特設「平家物語を読んでみよう」他 ・みどり図書館・清水図書館 : 34回 子育てファミリー応援講座「わらべうたであそぼう！」 「親子で運動あそび」、「孫育て講座」読み聞かせ講座 他 ・桜木図書館・美山図書館 : 61回 はじめての朗読オンライン講座 布絵本製作講座 高校生ビブリアバトル 作家講演会「小説家の裕夢さんとトークしよう！」 他 		
指 標				
計画		結果・成果		
<p>小学校との連携活動: 全小学校 (元年度) →全小学校 (2年度) →全小学校 (3年度)</p> <p>児童館や認定こども園等との交流: 130回 (2年度) →190回 (3年度)</p> <p>各館の特色を生かした事業の実施: 97回 (元年度) →54回 (2年度) →90回 (3年度)</p>		<p>小学校との連携活動 : 全小学校</p> <p>児童館や認定こども園との交流 : 190回</p> <p>各館の特色を生かした事業の実施: 107回</p>		
成果・課題	<p>小学校との連携活動は、司書の学校訪問による本の紹介や読み聞かせをはじめ、学校からの図書館訪問の受け入れ、移動図書館車での巡回貸出など、子どもに直接働きかける活動を実施したほか、学校司書等への研修や相談を実施することにより、全小学校との連携活動に取り組みました。</p> <p>また、児童館や認定こども園との交流は、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、対面での読み聞かせができない時には、代替サービスとして、司書があらかじめ選書した本を施設に配達し、定期的な入替を行う配本を実施することで、子どもの読書活動を推進し、目標を達成しました。</p> <p>各館の特色を生かした事業については、若年層から高齢者まで幅広い世代の市民を対象にイベント、講座、展示等を企画し、目標の実施回数を上回りました。</p> <p>今後も、より多くの市民が図書館を利用し、読書に興味・関心を持てる機会の提供や広報に努めていきます。</p>			




24	図書館サービスの拡充		
実行内容			
行動目標	<p>快適な読書環境の提供に努めるほか、来館が難しい方に向けた移動図書館車の巡回サービスや郵送貸出制度の周知を図り、図書館の利用を促進します。</p> <p>また、利用者アンケートなど、あらゆる機会を捉えて利用者のニーズを把握し、その後の取組に反映することで効果的なサービスの提供に努め、利用満足度の向上を図ります。</p> <p>市立図書館はリニューアル事業基本計画に基づき、基本・実施設計を行います。</p>		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館利用者数：598,737人 ○市民1人当たりの貸出冊数：4.6冊 ○利用促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・清水・美山図書館の開館時間及び開館日数の拡大（4月～） ・特別開館の実施：市立図書館5日 みどり図書館6日 ・貸出冊数増加の取組（上限を10冊から15冊に増加）を例年の期間を延長し実施（4月～） ・新規企画事業：「はじめての朗読オンライン講座」（8月）、「製本講座」（12月） ・利用者アンケートの実施（9月） ・読書週間関連事業：「読書筆記のすすめ」（10～11月）、「高校生ビブリオバトル」（10月） ○利用環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の移動図書館車に、バリアフリー対応の車椅子用リフト付車両を導入（11月） ・桜木図書館の電灯設備更新工事（2月） ○市立図書館リニューアル事業：基本設計業務完了（5月）、パブリック・コメントの実施（6～7月） 実施設計業務完了（2月） 	
指 標			
計 画		結 果・成 果	
<p>①116 図書館利用者数：731,189人（元年度） →498,401人（2年度）→743,700人（3年度）</p> <p>市民1人当たりの貸出冊数：4.6冊（元年度） →3.9冊（2年度）→4.6冊（3年度）</p> <p>図書館利用満足度：89.1%（元年度） →88.6%（2年度）→89.2%（3年度）</p> <p>市立図書館リニューアル事業 基本・実施設計： 2月完了</p>		<p>①116 図書館利用者数：598,737人</p> <p>市民1人当たりの貸出冊数：4.6冊</p> <p>図書館利用満足度：89.2%</p> <p>市立図書館リニューアル事業 基本・実施設計 ：2月完了</p>	
成果・課題	<p>図書館利用者数は、新型コロナウイルス感染症が収束しないため、行事等の一部中止や参加制限などを行った影響により、来館者数が伸びず目標を達成することができませんでした。</p> <p>市民1人当たりの貸出冊数は、様々な新規企画事業や読書週間関連事業をはじめ、幅広い世代を対象に、図書館を利用して本に親しめる各種取組を実施し、目標を達成しました。</p> <p>図書館利用満足度は、9月に利用者アンケートを行い、資料の品揃えや利用環境等について調査した結果、目標を達成しました。施設・設備では、桜木図書館の照明設備のLED化や移動図書館車にバリアフリー対応車両を導入するなど、利用環境の改善を図りました。</p> <p>来年度、市立図書館のリニューアルに伴う休館中には、様々な代替サービスの実施により、利用者サービスの維持に努めます。</p> <p>市立図書館リニューアル事業は、パブリック・コメントの実施により、リニューアル後の図書館の利活用に関する市民の意見やニーズ等を把握したうえで、設計業務を2月に完了しました。</p>		




VI. 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツライフを支援します

25	体育施設の整備		達成度	
実行内容				
行動目標	<p>市民が安全で気軽にスポーツを楽しむことができるよう、体育施設の維持管理に努めます。スポーツ環境の改善を図るため、既存施設の改修を進めるとともに、競技人口の推移や社会状況の変化に対応した機能集約や用途変更など、ニーズに応じた施設整備を行っていきます。</p> <p>また、市スポーツ公園サッカー場にフットボールセンターを整備するために、基本設計及び実施設計を行います。</p>			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○市体育施設利用者数 <ul style="list-style-type: none"> ・633,382人 ・コロナ感染拡大による利用制限 屋外・屋内施設 134日間（4/22～5/13、6/24～7/8、8/4～9/12、1/27～3/24） ・その他の利用制限（市体育館サブアリーナ） ワクチン接種会場提供 1年間 ○体育施設のLED化 <ul style="list-style-type: none"> ・市体育館メインアリーナ照明設備のLED化（2月完了） ・成和グラウンド照明付帯鉄塔撤去（1月完了） ○フットボールセンター整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・フットボールセンター整備事業 基本設計（9月完了）、実施設計（3月完了） 		
指 標				
計画		結果・成果		
<p>市体育施設利用者数：1,068,095人（元年度） →655,589人（2年度）→700,000人（3年度）</p> <p>体育施設のLED化： 市体育館メインアリーナ照明設備のLED化 成和グラウンド 照明付帯鉄塔撤去</p> <p>フットボールセンター整備事業： 基本設計8月完了、実施設計3月完了</p>		<p>市体育施設利用者数：633,382人</p> <p>体育施設のLED化： 市体育館メインアリーナ照明設備のLED化 2月完了 成和グラウンド照明付帯鉄塔撤去 1月完了 フットボールセンター整備事業： 基本設計9月完了、実施設計3月完了</p>		
成果・課題	<p>市体育施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により全ての体育施設を利用停止にしたほか、市体育館サブアリーナがワクチン接種会場のため、一般の利用ができなくなり利用者数の目標を達成することはできませんでした。</p> <p>体育施設のLED化は、市体育館メインアリーナの照明設備を更新しました。また、フットボールセンター整備事業は、基本設計及び実施設計を行いました。</p> <p>今後は、地域体育館や屋外施設のLED化を順次進めていきます。また、フットボールセンターは令和4年度にクラブハウスの建築工事に着手し、令和5年12月の完成に向け整備を行います。</p>			

26	スポーツを楽しむ環境づくり		達成度 
実行内容			
行動目標	<p>スポーツ教室やファミリーミニマラソン大会を開催するなど、運動やスポーツの楽しさを体感できる活動の充実に努めるとともに、北陸新幹線福井・敦賀開業後に開催されるフルマラソン大会に向けて、県、近隣市町、関係団体で構成する準備委員会を設立し、コースや大会の運営方法等の検討を進めます。</p> <p>今年度開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う事前キャンプの受入れや聖火イベント及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を行います。</p>		
取組内容	<p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやか健康体操（春2回・秋5回・冬3回） 1,030人 ・元気力アップ健康体操（春1回・秋5回・冬3回） 331人 ・サンサン健康体操（冬4回） 108人 <p style="text-align: center;">※例年は春・秋に各10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画配信 視聴者数 1,885人 <p>○福井フルマラソン準備委員会の開催 7月・11月・12月・2月・3月</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック聖火リレー 5月30日 ・パラリンピック市採火式 7月10日 ・スロベニア代表チーム事前キャンプ （オリ）水泳、バスケットボール、新体操 7月11日～8月1日 （パラ）陸上競技、自転車競技 8月13日～8月24日 <p>○全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催</p> <p style="text-align: right;">陸上競技、ボクシング、ハンドボール、自転車競技（トラックレース） 7月28日～8月22日 選手、監督・コーチ、役員等 総勢9,069人</p>		
指 標			
計 画		結果・成果	
成果・課題		<p>スポーツ教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の計画どおり開催できなかったため冬の教室を新たに設けました。また、コロナ禍で参加を自粛された方には、自宅等でもできる体操の動画を配信した結果、目標を達成することができました。</p> <p>フルマラソンは、大会名称やロゴマークを決定したほか、大会運営や地域の盛り上げ計画等を記した実施計画書の策定、2年前イベントを実施しました。令和4年度は、実行委員会に移行し、詳細計画の策定、本大会に向けた機運の醸成・参加者の裾野拡大を図るほか、1年前プレ大会を実施していきます。</p> <p>また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う関連事業の実施及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を開催し、市民のスポーツに対する関心の維持向上に努めました。</p>	

Ⅶ. 文化遺産を保存し継承するとともに、文化財の公開と活用を進めます

27	文化財の保存・継承			達成度	
実行内容					
行動目標	<p>郷土の貴重な文化財や歴史資源を適切に保存し、未来に継承するため、大安寺等指定文化財の保存修理や無形民俗文化財の後継者育成等の取組に支援します。</p> <p>また、福井駅前市街地再開発事業等に伴う発掘調査を行い、埋蔵文化財の保護に努めるとともに、福井城址や笏谷石などの福井固有の豊かな歴史や文化への理解を深めます。</p>				
	取組内容	<p>○文化財保護補助事業(7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(国指定)大安寺建造物修理(平成30年度～令和11年度、継続中) <ul style="list-style-type: none"> ：本堂の解体工事・耐震診断、山門の組立工事、鐘楼の解体工事・組立工事、鐘楼基壇の発掘調査 ・(県指定)花山行事後継者育成 ・(県指定)オシッサマのお渡り後継者育成 ・(市指定)春日神社拝殿屋根修理 ・(市指定)大安寺観音堂屋根修理 ・(市指定)毛利家長屋門屋根修理 ・(市指定)足羽神社モミジ樹勢回復 <p>○無形民俗文化財各種行事の開催</p> <p>[開催] ・(国指定)糸崎の仏舞(糸崎町)4月18日 ・(県指定)花山行事(栃泉町)5月5日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(県指定)馬鹿ばやし(手寄1丁目) 5月21日 ・(県指定)オシッサマのお渡り(本堂町)10月9,10日 <p>[中止] ・(県指定)したんじょう行事(鹿俣町) ・(県指定)じじぐれ祭(味見河内町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(県指定)白浜町のアマメン(白浜町) ・(市指定)免鳥夜網節(免鳥町) <p>○埋蔵文化財発掘調査(2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発事業に伴う福井城跡発掘調査 ・河増工業団地土地区画整理事業に伴う河増遺跡発掘調査 <p>○埋蔵文化財発掘調査に伴う見学会(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井城跡散策会 11月3日 ・河増遺跡発掘調査現地説明会 3月26日 			
指 標					
計画			結果・成果		
<p>⑩3 無形民俗文化財各種行事開催件数： 8件(元年度)→1件(2年度)→7件(3年度) 埋蔵文化財発掘調査に伴う見学会：2回</p>			<p>⑩3 無形民俗文化財各種行事開催件数： 4件 埋蔵文化財発掘調査に伴う見学会：2回</p>		
成果・課題	<p>文化財保護補助事業では、貴重な文化財の保存と継承のため、文化財の所有者や保存団体が行う、文化財建造物等の修理、無形民俗文化財の後継者育成等の取り組みに対して補助するなどの支援を行いました。</p> <p>無形民俗文化財各種行事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4件の開催が中止となりました。地域の伝統文化が適切に継承され、今後も開催されるよう、支援を続けていきます。</p> <p>民間開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査は予定通り完了しました。また、調査で得た記録や出土品を基に散策会や見学会を開催し、埋蔵文化財の理解に努めました。</p>				

28	文化財の公開と活用			達成度	
実行内容					
行動目標	<p>地域の歴史・文化に誇りを持ち、さらに理解を深めるため、文化財を身近に感じることができる展示や、昔の暮らしが体験できる学習会の開催など、文化財の公開と活用に取り組むとともに、施設の魅力を高め、利用促進を図ります。</p> <p>また、国選定された重要文化的景観「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」の保全に努めるとともに越前海岸の魅力発信に取り組みます。</p>				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○展示会 3回 参加者数 2,522人 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「山城を觀よう」 2,091人(7/21~8/31) ・「ふくコレⅡ～はたおりの民具展～」 270人(10/15~11/7) ・「令和3年度発掘速報展」 161人(3/12~31) ○体験学習会 計52回 参加者数 2,498人 <ul style="list-style-type: none"> ・土器づくり 2回 204人(7/22・25・2/27(中止)・3/12(中止)) ・土器焼き 4回 41人(8/5・8・16・19・3/26(中止)) ・布ぞりづくり 3回 30人(9/8・10・12) ・御茸山古墳群散策と勾玉づくり 1回 17人(9/26) ・端午の節句 320人(4/13~5/5) ・七夕まつり 285人(6/22~7/7) ・後のひな 232人(9/4~12) ・中秋の名月を楽しもう 153人(9/21) ・豆名月を楽しもう 68人(10/18) ・天神かざり 164人(1/5~25) ・ひなまつり 208人(2/22~3/6) ・ふるさと探訪「免鳥長山古墳見学」(国見公民館) 7人(9/28) ・「木田遺跡で弥生人になろう」(木田公民館) 46人(10/2) ・修学旅行(南越中学校) 27人(6/3) ・その他(学校、公民館、児童クラブ等) 31回 696人 ○講師派遣等(春日神社、あわら市、福井大学付属中学) 3回 57人 ○重要文化的景観「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」 <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルフォトスクール「越前海岸カメラ」5回 51人(10/23・11/27・12/12・1/29・2/13) ・越前水仙ガイドマップの作成(3月刊行) ・案内サインの設置(3月完成) 				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
文化財保護センター及びおさごえ民家園利用者数： 15,544人(元年度)→11,491人(2年度) →12,000人(3年度) 体験学習会参加者数：3,103人(元年度) →1,553人(2年度)→2,000人(3年度) 越前水仙ガイドマップの作成：12月末			文化財保護センター及びおさごえ民家園利用者数 ：13,152人 体験学習会参加者数：2,498人 越前水仙ガイドマップの作成：3月末		
成果・課題	<p>文化財保護センター及びおさごえ民家園では、HPやフェイスブック・インスタグラム等を通じた情報発信や、新型コロナウイルスの感染症対策を行った上で通常通り開館したことで、利用者や体験学習会参加者数は、目標を達成しました。</p> <p>また、「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」においては、越前町や南越前町と連携して、ガイドマップを作成するとともに、ローカルフォトスクールを開催し、水仙畑の情報発信の担い手育成を行いました。</p> <p>次年度以降は、地域住民と連携して、福井の歴史・文化遺産の魅力向上、普及啓発の取り組みを進めていきます。</p>				